別紙（参考様式）

令和3年度　体育に関する指導改善計画

廿日市市　立　大野西　小学校

令和2年度の重点課題

○共通
男女共，「反復横とび」「50m走」において，県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。総合評価DE率が24.8%である。

○男子
学年が上がるにつれて「上体起こし」が，県平均値かつ全国平均値より低くなっている。

○女子
学年が上がるにつれて「20mシャトルラン」が，県平均値かつ全国平均値より低くなっている。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○「ボール投げ」の力を高めるため，低学年では引き続き昔遊びの学習で「めんこ」を行った後，日常的に投げる動きができる場を設定しておく。中学年と高学年では，準備運動の中に「キャッチボール，ジャベリックボール」を活用した活動を取り入れる。
○　一人一人がボールを投げる経験を多く積めるような授業を仕組む。
○　外遊びを奨励したり，長縄大会を行ったりするなどの運動の機会を設け，全体的な運動量を高めることで，「50m走」「20mシャトルラン」や「反復横とび」「立ち幅とび」につながる力を伸ばす。
○　体育の時間の中で様々な運動遊びを紹介し，休み時間の学級レクや外遊びに発展するよう仕組んでいく。

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和元年度）・全国平均値（令和元年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.91	18.55	35.82	43.31	51.41	9.76	152.86	17.51	53.21

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.00	18.96	41.51	41.54	40.16	9.88	150.49	12.39	56.21

□県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年									

県の調査結果が公表された後，データ入力シートに最新の県平均値（R3）及び
全国平均値（R２）を記入し，比較を行います。

□県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	70.0	21.7	5.0	3.3

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	69.64	25.00	5.36	0.00

学校独自の意識調査

○　運動習慣に関するアンケートによると，1日の運動実施時間が，30分未満と回答する児童の割合が，男子23%，女子24%であった。男女とも割合を減らしていく必要がある。(R3年度)

○　新体力テストの総合表のAB率43%，DE率33%である。((AB-DE)率10%)（R3年度）

重点課題

＜情意面での課題＞
○　男子
・運動やスポーツをすることがややきらい，きらいと答えた児童の割合が8.3%である。
○　女子
・運動やスポーツをすることがややきらい，きらいと答えた児童の割合が5.36%である。
＜体力面での課題＞
○　男子
・「長座体前屈」以外の種目において全国平均値かつ県平均値より低い。
○　女子
・「上体おこし」，「20mシャトルラン」，「50m走」，「ボール投げ」において県平均値かつ全国平均値より低い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○　年間を通して準備運動（5分）の中に学校独自の西っ子サーキットや西っ子体操を行う。
○　日頃の体育の授業での，児童の運動量を確保するとともに，「50m走」「ボール投げ」や持久力の向上につながる運動を準備体操などに取り入れていく。

体育の授業以外で行う取組内容

○　外遊びを奨励し，全校児童の全体的な運動量を高める。
○　体育ファイルを活用し，児童自身が自分の体力の課題や目標を意識できるようにする。
○　児童の実態を踏まえて，休み時間の学級レクを仕組むことや，授業はじめに取り組むサーキットトレーニングや準備体操の正しい行い方を全職員で確認する。

令和4年度の重点目標値

○総合表のDE率を30%以下にする。（R3年度比－3%）